

平成 30 年 6 月 21 日

各 位

ISNA 日本スヌーズレン総合研究所  
所長 姉 崎 弘  
(常葉大学教育学部教授)

## 第 7 回スヌーズレン研修会開催のご案内

初夏の候 皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本研究所の研究活動並びに研修活動にご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

さて、別紙のとおり、平成 30 年 8 月 19 日(日)に神戸市の「県庁前駅」近くの兵庫県民会館を会場に、ISNA 日本スヌーズレン総合研究所主催、学術研究出版/ブックウェイ共催による「第 7 回 スヌーズレン研修会」を開催する運びとなりましたので、ご案内を申し上げます。

本研究所は、3 年前よりスヌーズレンの正しい理解啓発のための研究および研修活動に取り組んでまいりました。具体的には、年 1 回の機関誌「スヌーズレン教育・福祉研究」誌の発行、年 2 回のスヌーズレン研修会の開催、さらに日本特殊教育学会や日本 LD 学会でのスヌーズレンシンポジウムおよび研究発表を行ってきております。

今回は「スヌーズレンの考え方に基づく地域での発達支援に向けて」をテーマに致しました。研修内容としまして、創始者たちの思想に基づくスヌーズレンの基本的な考え方と実践、スヌーズレンの効果—認知機能に着目して—、産学連携によるスヌーズレン器材(バブルチューブ)の開発と評価事例、発達支援場面でのスヌーズレン活用の可能性、発達障がい等の子どもへの心理面の支援、通級指導教室におけるスヌーズレンの実践紹介、参加者相互の実践や研究の情報交換会、さらに企業によるスヌーズレンの器材や教具の紹介と説明、を設定いたしました。スヌーズレンの基礎理論から実践、さらに器材や教具、話合いの場の設定、といった一連の内容を用意いたしました。また夕方からは神戸の夜景を見ながら親睦を深める懇親会も予定しております。

本研修会では、スヌーズレンの初心者から経験者の方に至るまで、幅広い層の人々に意義のある研修会にしたいと考えました。また将来の資格認定セミナーの開催を想定して、各分野の専門家に講師をお願いし、必須の研修内容を用意するように努めました。

今後わが国においても、スヌーズレンが諸外国に見られるように、さまざまな分野において有効に活用されることを願っております。今回の研修会が、参加される皆様方の日頃のスヌーズレンの実践や研究を見直し、さらに充実させる良き機会となりますことを切に願っております。

何かとご多用の時期とは存じますが、ぜひ職場の皆様にも本研修会の開催についてご案内下さいますよう、何卒ご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

敬具